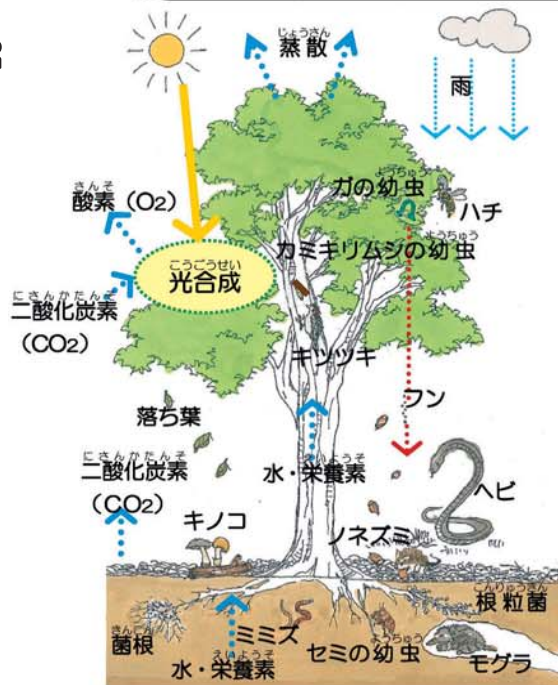


1. 森の生態系ってなに？

○ねらい：樹林地や田畑、ため池など私たちの周りには、それぞれたくさんの動物や植物が土や水と一体的な生態系^(※)をつくっています。そして生きものは全て、「食べる⇔食べられる」の^{かんけい}関係（食物連鎖や食物網）で複雑につながっています。生物多様性保全とは、この関係をよりよく保っていくことで、もともとその場所にすんでいた多くの動植物が生き続けていける環境を守っていくことを目的にしています。みなさんの身の周りの生きものを調べて、どんな生態系があるかみてみましょう。

●対象地：樹林地・学校・河原・庭・公園・道ばたなど



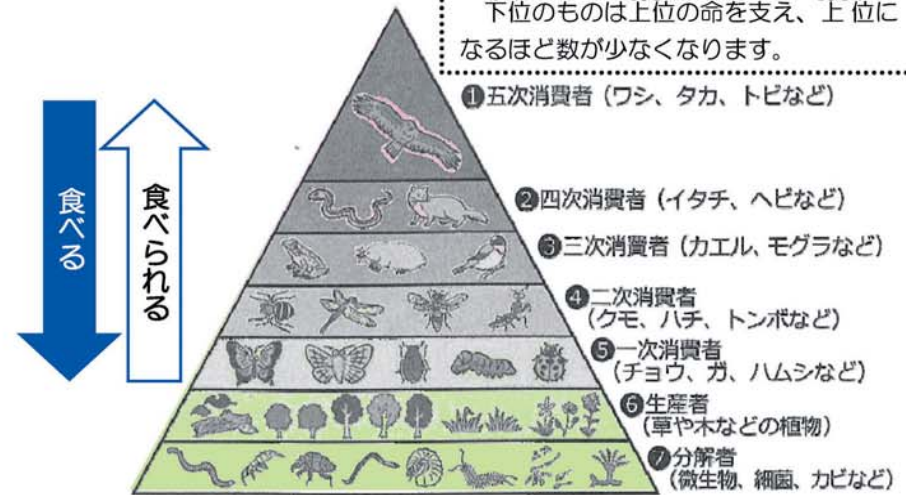
※生態系：ある地域の生きものの集まりと、それらの生息場所である環境をひとまとめにしてとらえたもの。

森の生態系

水と日光と二酸化炭素 (CO_2) によって光合成を行いながら生長する木。その木を食べたり生活の場としている虫や鳥。また、これらを食べるものにする動物。落ち葉や枯れ枝や木の実を食べてフンにする動物や、これを分解するキノコやカビなどの菌類や微生物など。たくさんの生きものが鎖のようにつながっているの、食物連鎖と呼びます。

またこれらの生きものはピラミッドをつくっています。私たち人間は、この食物連鎖の頂点にいるので、このバランスを崩さないことが必要です。

食物連鎖のピラミッド

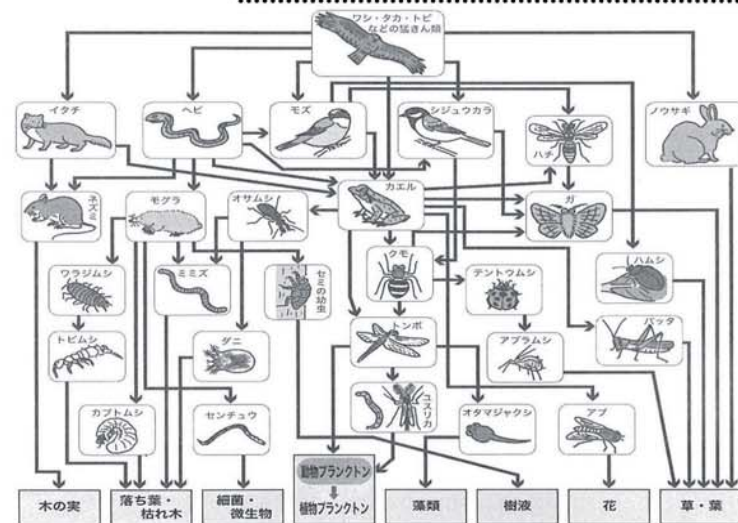


豊かな生態系は、消費者・生産者・分解者のバランスが保たれています。下位のは上位の命を支え、上位になるほど数が少なくなります。

- ①五次消費者（ワシ、タカ、トビなど）
- ②四次消費者（イタチ、ヘビなど）
- ③三次消費者（カエル、モグラなど）
- ④二次消費者（クモ、ハチ、トンボなど）
- ⑤一次消費者（チョウ、ガ、ハムシなど）
- ⑥生産者（草や木などの植物）
- ⑦分解者（微生物、細菌、カビなど）

食物網

実際の生態系では、一つの生きものは、いろいろな種類を食べ、いろいろな種類に食べられています。この複雑な関係は網の目になっているため、食物網と呼びます。



出典：なごやの森づくりガイドブック 財団法人名古屋市民協会の協会